

# 第1回 “となみ創生” まちづくり委員会 会議録

日 時：平成27年8月6日（木） 午後3時～午後4時40分

場 所：砺波市役所3F「小ホール」

## 出席者（16名・敬称略）

氏名	役職等	(区分) 分野
安念 邦夫	市民公募	(住民) 公募
伊藤 仁嗣	砺波農業者協議会青年農業士部会副部長	(産) 農業
梅本 恵子	有限会社梅香園	(住民) 食育・地域
燕昇司 勇夫	株式会社東般若利用組合 代表取締役	(住民) 農業
雄川 勉	JA となみ野特産振興課長	(産) 農業
金田 卓也	砺波金融協会会員（富山銀行砺波支店長）	(金) 金融
河合 要子	KO・RA・RE 代表	(住民) 観光
北村 将人	となみ青年会議所専務理事	(住民) 地域
得能 英紀	砺波商工会議所常議員	(産) 商工
南本 宗憲	市民公募	(住民) 公募
早崎 富士夫	市民公募	(住民) 公募
堀田 泰弘	砺波工場協会会長	(産) 工業
室永 美穂	NPO 法人 SEIBU スポーツクラブ理事長	(住民) 体育
柳瀬 恵子	砺波市社会福祉協議会地域福祉課主査	(住民) 福祉・ボランティア
吉田 直子	NPO法人さくらの家矢木代表	(住民) 福祉
吉田 直人	市民公募	(住民) 公募

## 欠席者（4名・敬称略）

飯田 明恵	砺波市母親クラブ連合会副会長	(住民) 女性・子育て
田邊 雅貴	アナウンサー	(言) 報道
中條 純子	高岡法科大学准教授	(学) 教育（学識経験者）
横川 達乃	砺波市男女共同参画推進員連絡会副会長	(住民) 男女共同

## 市側出席者

齊藤副市長、横山企画総務部長、島田企画調整課長、河合主幹、宮本主事

## 資料等

- 委員会次第・委員名簿・座席配置図・“となみ創生”まちづくり委員会設置要綱
- 第1次総合計画後期計画ダイジェスト版
- 配布資料
  - 資料1 第2次砺波市総合計画・地方版総合戦略等の策定について
  - 資料2 国と地方における人口ビジョン・総合戦略の構成
  - 資料3 総合計画・総合戦略等 策定に関する組織
  - 資料4 第2次砺波市総合計画、総合戦略・地方人口ビジョン 策定スケジュール(予定)
  - 資料5 総合戦略及び総合計画策定にかかるアンケート調査について  
市民アンケート調査結果速報（市民、結婚・子育て世代、転出者）
  - 資料6-1 地方人口ビジョンの策定イメージ
  - 資料6-2 砺波市の将来人口試算
  - 資料6-3 砺波市人口ビジョン（素案）
  - 資料7-1 総合戦略における基本目標の比較

- ・資料7-2 主な施策・主な取り組み・K P I
- ・資料7-3 砺波市における地方創生関連事業

1. 開会	
2. 副市長あいさつ	
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国では「人口減少」と「東京一極集中」を排除するための「地方創生」を掲げ、2060年の人口を1億人程度で維持するための施策を進めようとしている。</li> <li>・国の動きを受け、砺波市でも平成27年から5年間の地方版総合戦略を策定することとしている。また、現行の総合計画が平成28年度までとなっており、平成29年度から10年間の総合計画も策定する必要がある。委員の皆さまには、この2つの計画を併せて協議していただき、ご提言いただきたい。</li> <li>・特に総合戦略は、今年10月までに策定することになるので、集中的に議論していただきたい。</li> <li>・総合戦略の中には人口ビジョンの策定も含まれており、先月の総合計画審議会で、砺波市の2060年の将来人口は4万人を目指すということになった。</li> <li>・砺波市は2015年度の住みよさランキング8位である。周辺の大きな立地・環境の変化の中で、3世代同居や子育て支援、定住・移住等の施策を通じて将来人口4万人を目指したまちづくりを進めていきたい。</li> <li>・委員の皆さまの各々の分野から、砺波市の将来に向けた率直な意見を頂きたい。</li> <li>・宜しく願いいたします。(挨拶後、退席)</li> </ul>
3. 委員紹介	
4. 会長選出	
	<p>“となみ創生”まちづくり委員会設置要綱 第5条 第1項による 委員長は砺波商工会議所常議員の得能委員に決定。 副委員長は高岡法科大学准教授の中條委員に決定。</p>
得能委員長	<p>【委員長挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛する砺波に対する思いを語り合いながら、いい方向にまとめ、力強く市に提案していきたい。</li> <li>・ご協力をお願いいたします。</li> </ul>
5. 協議(説明)事項	
事務局	<p>(1)第2次砺波市総合計画及び、砺波市版総合戦略等の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1～5の要点を説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織(資料3)は、第1次総合計画策定時と同じか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ同じような組織体制である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚・子育て世代アンケート調査結果(速報)のp7問6-1のグラフについて、「実際の子どもの数」と「現実の子どもの数」の違いは何か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実際の子どもの数」は現在育てている子どもの数、「現実の子どもの数」は現実に持つ予定の子どもの数である。</li> </ul>
得能委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査結果(速報)について、年代によって重点を置くところが違ってくると思うので、年代別の分析をしてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は月1回のスケジュールか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のスケジュールで進めながら、メールや文書等によって補足していきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略のまとめ方のイメージ(完成形)を教えてください。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略は、総合計画における将来の人口減少に対する事業として、新型交付金も見据えながら10月までに策定し、その後、必要があれば見直し、修正していきたい。</li> <li>・総合計画では全ての分野に渡るハード・ソフト両方の事業を検討していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者や優秀な方が砺波市に戻らない実態が、このアンケートに表れていると感じる。</li> </ul>
得能委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回の集まりで皆さんの意見を全て引き出すことは難しいので、メール、郵便などで事前に資料を配布して各々検討して頂き、集まった機会に提案しあう形で進めたい。</li> </ul>
事務局	<p><b>(2)人口ビジョン素案(部分)等について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料6-1～6-3の要点を説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議の配布資料は、一般に公開することはあるのか。砺波市の現実として市民に知らせられると良い。</li> <li>・更に詳しい資料を請求することは可能か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の方が詳細な資料を請求することは可能である。</li> <li>・一般への公開については、パブリックコメント(10月予定)により、素案としてホームページ等を通じて公開し、広く意見を聞きたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが欲しくても中々授からない夫婦にも目を向けてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親を見ながら子どもは育つ。子どもが砺波で暮らしたいと思えるような子育てを、砺波で暮らす親がすることで、砺波市の中に好循環が生まれると良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2060年の将来人口を4万人にした根拠は何か。4万人にするための施策をつくる必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ビジョンの基本的な考え方は、国・県に準じて策定することになる。国の希望出生率は1.8、県の希望出生率は1.9を使っている。</li> <li>・砺波市民の希望を叶えるための将来ビジョン策定に向け、砺波市のアンケート等から希望出生率2.0とし、「社会増」を見込み「住みよさ」の可能性を加えて、先の総合計画審議会において目標数値を4万人とした。</li> </ul>
事務局	<p><b>(3)砺波市版総合戦略の骨子について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料7-1～7-3の要点を説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者には働く場所が必要であり、企業を誘致するアイデアが必要だと思う。砺波市の中山間地域から砺波市の街中に移り住む傾向がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業はサラリーマンよりも儲からないイメージがある。若い人たちが農業に参入でき、生活を成り立たせながら砺波市に定住できるような施策が必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てにはお金がかかりすぎるのが理想の子ども数を持たない理由に挙げられているが、お金をかければ体制が整うのか。お金以外のニーズも考える必要がある。</li> <li>・地域で子育てを進められるよう、シニア世代の協力や空き家の活用等、仕事と子育てを両立しようとする優秀な女性が仕事を継続できるような環境づくりが必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砺波市に若者が定住しない理由に「住みよさ」と関係ない理由も挙げられているので、現状を見直すと良いと思う。</li> <li>・近所づき合いの大切さや砺波の歴史等を上手にPRしながら、郷土愛を育むための教育環境を学校等と協力しながらつくっていく必要がある(小学生はスポーツ少年団との兼ね合いがある)。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砺波市はスポーツに関して積極的な市であり、「となみスポーツプラン」は市民ニーズに合わせた施策を展開していると思うが、現在は「スポーツしている人」と「スポーツしていない人」の二極化が進んでおり、アンケートをより細分化して検討する必要があるが出て来ているのではないかと。</li> <li>・市の取り組みを市民が知り、その仕組みを上手に活用していけるよう、背中を押してあげることが必要だと思う。</li> <li>・元気な心身をつくることは、積極的な婚活や健康に子どもを産める体に繋がっていくと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在策定している「地域福祉活動計画」の地区懇談会では、ワークショップ形式で自分達が出来ることに対する意見出しを行っている。そこで出された「まちづくり」に関する意見もこの委員会で伝えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砺波市は自然が豊かなまちで、車でちょっと行けば何でもあり、「住みよさ」を感じている。</li> <li>・砺波の特徴的な地域資源である「チューリップ」「大門素麺」「豊かな水田」等、高齢化や後継者不足により将来が心配であるが、守っていききたい産業である。</li> <li>・計画には若者の意見を反映してほしい。</li> <li>・若者の郷土愛を醸成し、「戻って来たい」と思ってもらうための働きかけが大切だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えている市町村と砺波市のアンケート結果を対比できたら参考になるのではないかと。</li> <li>・「選択と集中」の中で、「オンリーワンの尖ったもの（他と違う目立つもの）」を1・2つ創り、砺波市に興味を持ってもらうことで人に戻ってもらい、砺波市に住みたい気持ちが芽生えることが大切である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が砺波に戻る一番の理由は、「帰って来い」と親に言われることだと思う。</li> <li>・若者が望む所得を砺波市に住みながら得られるか、今の生活を維持しながら子育てできる環境をつくれるか、若者の理想を把握し、対策を検討する必要がある。</li> <li>・若者の中でもターゲットを絞り砺波市に戻ってもらう。自分が望む所得水準に対する思いに食い違いのある若者を引っ張ることは難しいのではないかと。</li> </ul>
得能委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙意見書に本日の会議に対する意見を書いて頂き、回収し、まとめたものを委員会前にお送りしたい。</li> <li>・10月までに総合戦略の素案をつくりたいので、ご協力いただきたい。</li> <li>・次回9月の委員会も平日の3時から行っても良いかと。</li> </ul>
	(全員による賛同)
<b>6. 閉会</b>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の委員会からが本当の勝負になると思う。</li> <li>・全国で総合戦略を策定しており、人の奪い合いをすることになるので、砺波市に余程の魅力をつくらなければならない。</li> <li>・人が出ていかないまちづくりも大切だが、子どもを2名産みたい方が2名産めるまちづくりを考え、住み続けたい、戻って住みたいと思ってもらえるような、まちの賑わいをつくるソフト分野の施策をみんなで検討していくことが大切だと思う。</li> <li>・引き続き、宜しくお願いします。</li> </ul>
	次回9月上旬、同時間（予定）
	以上